

## 政治部報告

三八

過ぐる一ケ年間我國資本主義的經濟危機は必然的に政治的不安を深刻化せしめた。所謂五、一五事件の發生の後を承けて、非常時舉國一致の美名の下に成立せる齋藤内閣も組閣以來三年、何等見るべき業績を擧げてゐない。即ち外に對しては所謂焦土外交をもつて國際聯盟より脱退して自らを危機に陥れ乍ら、今もつて一步も打開せず、内に對しては軍事インフレをもつて技術労働者の一部を潤はした以外、失業対策に、農村対策に何事をも爲し得ず無爲無策民衆の生活をより窮乏に導き、昭和九年度豫算の編成に當つては無産大衆を犠牲に供して資本家地主に奉仕するところ形大なるものを提出し、今や全く齋藤内閣は反動の本質を全民衆の前に曝露した。

二、三年來ファツシヨ運動の擡頭によつて一時苦難の度を増した無産階級の政治的結集勢力は、今や本來の階級利害を基調とする運動に、反撥力を以て立ち返りつゝある。だが「一九三五——六年の危機」を前にして、尙國民主義的傾向が濃厚であり、依然苦難の道を歩まざるを得なかつたことは事實である。

斯くて本組合政治部は機會ある毎に、如上の齋藤反動内閣をめぐるブルジョア政治の本質を暴露しつゝ全無産階級の熾烈な一方日本労働組合會議を通じて果敢なる努力を續け來つたが、政府はその政權維持に汲々として、未だ労働階級の要求を容れざることは遺憾である。

然し乍ら本組合多年の宿望であつた海上に於ける生命の安全を、法律によつて保護せんとする船舶安全法は昨春立法化されその實施期が遅延せられてゐたが、遂に昭和九年三月一日に實施の運びに至つたことは、榑崎前組合長の遺志を茲に實現し得て、吾等の最も慶びとするところである。

更に一時的には好調を示しつゝあるかの如き觀を呈せる我海運界も依然として、その底には恐慌の暗流が深く低迷しつゝあり、之に對應する資本家の狂暴的攻勢に對して、絶えず我等の陣營を防衛する政治的手段が講ぜられたことは蓋し當然であつた。此の意味に於て海員失業の防止策及び失業海員の共済資金獲得等に全努力を傾注したことは、客觀的狀態から見て最も正しかつたと云はねばならぬ。

特に失業共済は失業保險制度確立の先驅的意義を有するものであるが、我國資本主義の現段階に於て、失業保險を絶対に認容せざる政府をして、此種の施設に對する補助を承認せしめたことは、本組合の健實なる運動の齎らしたる一大實績なりと斷言して憚らなす。

三九